

## ACCESS、総務省の「ICT を活用した次世代 ITS の確立」研究開発事業に ブラウザ開発企業として選定

—Web とクルマを融合した多彩なサービスの実現にむけて、  
W3C Vehicle API 機能に対応した車載向けブラウザを開発、提供開始—

株式会社 ACCESS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：室伏 伸哉、以下 ACCESS）は、総務省が推進する「ICT を活用した次世代 ITS（Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム）の確立」における「Web 技術を活用した携帯電話ネットワーク利用型情報収集・配信技術の開発」事業のブラウザ開発企業として選定されたことを発表いたします。ACCESS は、同社 WebKit ベースのブラウザに、新たに Web 国際標準化団体 W3C による最新車載向け仕様である Vehicle API の一部機能を実装し、本事業に提供いたしました。この事業の成果を踏まえ、本日より、Web とクルマを融合した多彩なサービスの研究開発を行う、自動車メーカーおよび車載機器メーカーなどを対象に、「NetFront<sup>®</sup> Browser NX Automotive Profile v2.0」として、提供開始いたします。

近年、IoT 化の流れは、携帯端末から家電、そして自動車へと急速に拡大しつつあります。こうした中、W3C では、2014 年12月に、車載システムに搭載されているコンピュータ技術と Web 技術とを連携させて、多彩な車載向けサービスを可能とする仕様として W3C Vehicle API を Final Business Group Report として公開しており、今年2月には Automotive Working Group を発足しています。ACCESS は、前身の Business Group が発足された 2013 年より、メンバー企業として車載向け Web 技術の仕様策定に協力してまいりました。この度、ブラウザ企業として市場に先駆けて、「NetFront Browser NX Automotive Profile」を W3C Vehicle API に対応させて提供することにより、メーカーの多彩な車載インフォテインメント（IVI）サービス・機能の研究開発を活性化し、自動車業界の IoT 化を支援してまいります。

「NetFront Browser NX Automotive Profile v2.0」は、家電向け WebKit ベースのブラウザ「NetFront<sup>®</sup> Browser NX」の省メモリかつパワフルなレンダリング機能、業界最高水準の HTML5 対応充実度に加えて、ルネサス エレクトロニクスの R-Car シリーズをはじめ主要な車載情報システム用 LSI に対応し、Web とクルマを融合した IVI サービスの開発に最適なブラウザです。IVI は、今後電子化が進む車両制御系システムとの連携をはじめ、他の車や道路といったインフラや情報センターなど車外との情報連携、スマートフォンなど様々な機器との連携が進むと見込まれています。こうした IVI を起点とした車両情報の国際規格である W3C Vehicle API 機能を搭載した本ブラウザを採用することにより、従来のカーナビゲーションといった情報・娯楽用途のみでなく、車両データや走行データを扱う車載ネットワーク（CAN など）の情報を Web アプリケーションから利用することが可能となり、より幅広い車載サービスの開発・提供が可能となります。

「Web 技術を活用した携帯電話ネットワーク利用型情報収集・配信技術の開発」事業は、内閣府の SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）の対象課題の一つである「自動走行システム」に含まれる、総務省の「歩車間通信技術の開発（ICT を活用した次世代 ITS の確立）」の公募に対して、株式会社 KDDI 総研（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：東条 続紀、以下 KDDI 総研）が採択を受けて、協力企業とともに推進するものです。「自動走行システム」事業では、ITS による先読み情報を活用し、2017 年までに準自動走行システム（レベル 2）、2020 年代前半に準自動走行システム（レベル 3）、2020 年代後半以降に完全自動走行システム（レベル 4）を市場化することにより、現在の自動車業界の枠を超えた新たな産業創出を目指しています。

「Web 技術を活用した携帯電話ネットワーク利用型情報収集・配信技術の開発」では、KDDI 総研が主導して、最新の Web 技術を活用し、自動走行を側面から支える道路状況・走行状況といったデータ収集を可能とするシステムの開発を行っていきます。ACCESS は、KDDI 総研よりブラウザ開発企業に選定されたのを受けて、車の情報を Web で利用するための国際標準規格である、W3C Vehicle API に対応したブラウザの開発を行うとともに、世界中の車載・家電・通信への搭載実績を通じて蓄積されたブラウザにおける開発力・ノウハウを結集し、技術支援してまいります。なお、本年 2 月下旬には、KDDI 総研の実施したタクシーとレンタカーの実車を使った実証実験において、新たにブラウザの評価を行ってきました。

ACCESS は、総務省、一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）、一般財団法人日本自動車研究所（JARI）の後援による“Web とクルマのアイデアソン”（日時：2015 年 3 月 28 日、場所：慶應義塾大学 三田キャンパス）に出展し、新ブラウザのデモを交えてご紹介いたします。詳細は、<https://www.kddi-ri.jp/ideathon/>をご覧ください。

W3C の Vehicle API に関する詳細は、<https://www.w3.org/community/autowebplatform/>をご覧ください。

内閣府の SIP に関する詳細は、<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/index.html> をご覧ください。

総務省の「自動走行システム」の検証事業に関する詳細は、総務省の公開情報をご覧ください。

#### ■株式会社 ACCESS について

ACCESS（東証マザーズ：4813）は、1984 年の設立以来、独立系ソフトウェア企業として、世界中の通信、家電、放送、出版、エネルギーインフラ業界向けに、モバイル並びにネットワークソフトウェア技術を核とした先進の IT ソリューションを提供しています。累計搭載実績 10 億台を超えるモバイルソフトウェアおよび 250 社以上の通信機器メーカーへの豊富な採用実績を誇るネットワークソフトウェアにおける仮想化技術の開発力とノウハウを活かし、現在、組込とクラウド技術を融合した IoT ソリューションの開発・事業化に注力しています。アジア、米国、ヨーロッパ地域の子会社を拠点に国際展開も推進しています。

<http://jp.access-company.com/>

※ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。  
※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

**本件に関するお問い合わせ**

報道機関からのお問い合わせ

TEL：043-212-2230

E-Mail：[prinfo-gr@access-company.com](mailto:prinfo-gr@access-company.com)

投資家・株主からのお問い合わせ

TEL：043-212-2232

E-Mail：[ir\\_o-gr@access-company.com](mailto:ir_o-gr@access-company.com)